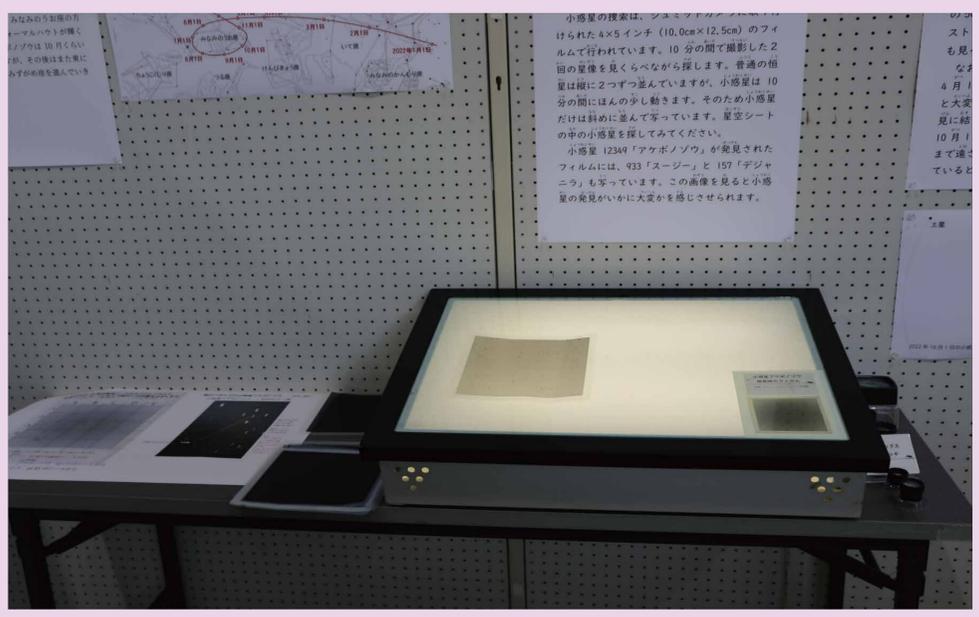




企画展 多賀と星とゾウの物語
 令和4年(2022年)10月1日(土)～10月30日(日)
 主催 多賀町立博物館
 協力 ダイニックアストロパーク天究館

2022年7月7日の「小惑星 Akebonozou 命名 報告式」の時に作った「蚕棚の星飾り」に、**太陽系の惑星**（1億6000万分の1模型（立体・平面））をつりました。
 太陽が棚の端にあると考えて、水星・金星・地球・・・と距離に応じてあります。（天王星と海王星はあまりに遠いので至近にあります）。太陽は、大きさの比較のため床に赤いテープで直径cmで示しました（右）**小惑星アケボノゾウ**がどこにあるかがしてください。
 “小惑星帯”がその位置です。



太陽は床の赤い線で示しています

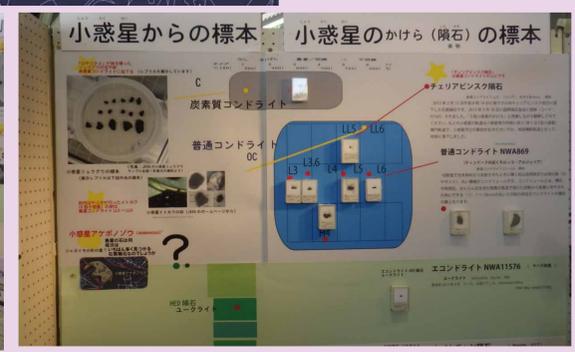


1993年4月14日小惑星 Akebonozou 発見時の写真フィルム（実物）とそれを約10倍に拡大した透過 “星空シート”。



はやぶさ2による小惑星リュウグウの探査。
 6月12日からの「小惑星リュウグウサンプルレプリカ全国一斉展示」をふたたび展示

小惑星「多賀」の命名（1989年）
 小惑星の命名についての解説と
 小惑星「アケボノゾウ」命名（2022年）



隕石（実物！）
 キャンオンディアブロ隕石や、ギベオン隕石（ウイドマンシュテッテン構造が見える断面）



星とゾウの物語 ゾウの名前の付く星座、星雲などのコーナーです。



アケボノゾウ発見時の写真展を引き続き実施しています。また、あけぼのパーク多賀では「しが地城文化遺産フェス in 多賀」が開催されます。10月8日(土)のイベントを中心に、関連する展示があけぼのパーク多賀で展示されています(9月27日(火)～10月16日(日))。企画展「多賀と星とゾウの物語」関連の天体観望会～小惑星アケボノゾウ(Akebonozou)と秋の星を見る～は、10月16日(日)夜に、ダイニックアストロパーク天究館で行われます(申込みが必要です)。
 国の天然記念物になったアケボノゾウ、小惑星の名前になったアケボノゾウをお祝いする企画展です